

ぼだい樹

21号

2002/3/発行
津島市神明町
真言宗宝寿院

宝寿院歳時記

春の足音と共にイカルの

初鳴きが聞かれ、紅梅白梅が開き花壇は春の花が咲き小鳥達がおしゃべりに余念有りません。宝寿院では三月二十一日の弘法大師の命日を正御影供といって弘法様に感謝をし施しを致します。今年は春分の日が弘法様の縁日と重なります。当院ではこの日に虫干しをかねて、寺宝を出し皆様に拝観していただきます。一日中写経会も開催していますので時間を作って挑戦して下さい。すつきり：展示の宝物の中では、三千佛の大きな掛け図が室町時代の信仰を伝えてくれます。その中で筆を執っていますと昔のお坊さんの気持ちも理解できます。全ての経は写経によって今に伝えられているのです。弘法大師空海も中国では日本に持ち帰る為にひたすら写経に励んだ事が伝えられています。最初は書写する人を雇ったつもりだった様ですが、とてもお金の要る事で、それも尽き果てて御自分で一心に書写されました。遣唐使の学生もお手伝い

したことが記録されています。

質問コーナー

ぼだい樹 号の四苦八苦の八苦を教えてください。

答え

- 1 愛別離苦（あいべつりく）
- 2 怨憎会苦（おんぞうえく）
- 3 求不得苦（ぐふとつく）
- 4 五陰盛苦（ごおんじょうく）

人間の避けられない苦しみ

生老病死の四苦と併せて考えてみる。

愛しいもの大切なものと別れる苦しみ。

憎しみ深き者とも逢わねばならぬ苦。

求めても得る事の出来ぬ苦しみ。

自身の内なる欲求によって起きる苦。

お釈迦様はこの苦しみを正しい行いによって乗り越える事を教えています。

いつも読むお経 勤行の中に出てきます

十善戒（不殺生……）を 実践致しましょう。

お便りコーナー

十六年に及ぶ闘病生活の末奥様を亡くされ一年後の心境をお寄せいただきました。

東海市加木屋町の伊藤 孝

短夜や夢の逢瀬は 妻の事

別れの日 何時か来るもの 花吹雪

妻逝きし 刻を醒めおり 冬の夜

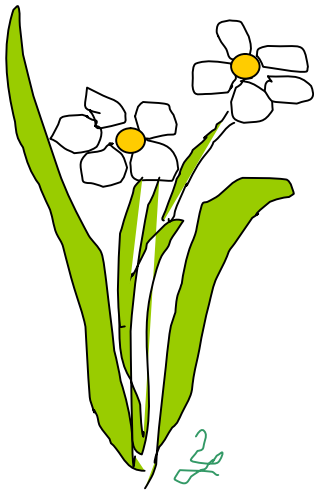
宝寿院行事案内

三月 二十一日 九時～四時

宝物展 及 写経会

四月 七・八日 甘茶

花祭り お釈迦様誕生日



五月 三・四・五日

スタンプ・ラリー

毎月 一・八・十五日 十時

薬師ごま祈祷 厄除け

毎月 二十一日 十時

お経と御詠歌練習会

毎月 二十四日 十時 水子供養